

第78期 中間株主通信

2025年4月1日～2025年9月30日



ホテルルートインGrand三沢 -EAST COURT- 〔青森県〕

株主の皆様へ

PC技術を中核とした高度な技術力により、
地球にやさしく安全で快適な社会の実現
に貢献する

代表取締役 社長執行役員 森 拓也

■ 2025年度上期の事業環境と業績について

上期における、当社グループが属する建設業界の事業環境についてご報告申し上げます。

当上期の建設業界は、民間設備投資は底堅く推移し、都市部を中心に建築市場は堅調な動きを見せました。土木分野においても、防災・減災および国土強靱化に向けた公共投資が継続されており、安定した事業機会が確保されています。一方で、物価の高騰に加え、資材・労務費の上昇傾向は依然として続いており、人手不足の影響も顕在化しております。

このような事業環境のもと、当上期の業績は当初計画より進捗が早く好調な結果となりました。特に受注面では建築事業で大型案件受注獲得に成功し、利益面では土木事業における設計変更の獲得・原価改善の取り組みにより、上期における過去最高益を達成することができました。

■ 中期経営計画2025について

本年度より始動いたしました「中期経営計画2025」におきましては、急速に変化する事業環境を踏まえ、「人的投資」および「技術開発・DXの推進」に重点を置き、積極的な投資を進めております。

「人的投資」では、激化する人財獲得競争を背景に、他社に劣らぬ処遇の整備や企業認知度向上を目的とした広報活動の強化に取り組んでおります。加えて、社員一人ひとりのスキルや技術力向上を図る施策にも注力し、持続的な人財育成を推進しております。

「技術開発」に関しては、当社の最大の強みであるプレストレストコンクリートおよびプレキャスト関連技術に加え、近年重要性が高まっているメンテナンス・リニューアル関連技術においても積極的に取り組み、事業規模の拡大と企業価値の向上を目指しております。また、急速に進化するデジタル技術の活用は、企業としての重要課題であると認識しております。今年度より新設いたしました「DX推進室」を中心に、制度改革・人財育成・システム開発など、多面的なアプローチを通じて、生産性の向上という最大の目的の実現に向けて取り組んでおります。

これらの施策は、将来を見据えた重要な投資であり、社員一人ひとりが成長を実感できる企業づくりを目指してまいります。

■ 株主の皆様へのメッセージ

当社は2026年4月1日をもちまして、当社の100%子会社であるピー・エス・コンクリート株式会社を吸収合併することいたしました。本合併は、より積極的な事業展開を可能とする体制の構築を目的としております。人財交流の促進、工場設備への投資拡充を通じて、組織全体の更なる活性化に努めてまいります。

また、資本業務提携を締結しております大成建設株式会社との連携も順調に進展しており、両社の強みを活かしたシナジーの創出が着実に進んでおります。

今後とも、当社グループ全体の企業価値向上と更なる発展に向けて尽力してまいります。株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

技術紹介

「カーボレスコンクリート」を推進

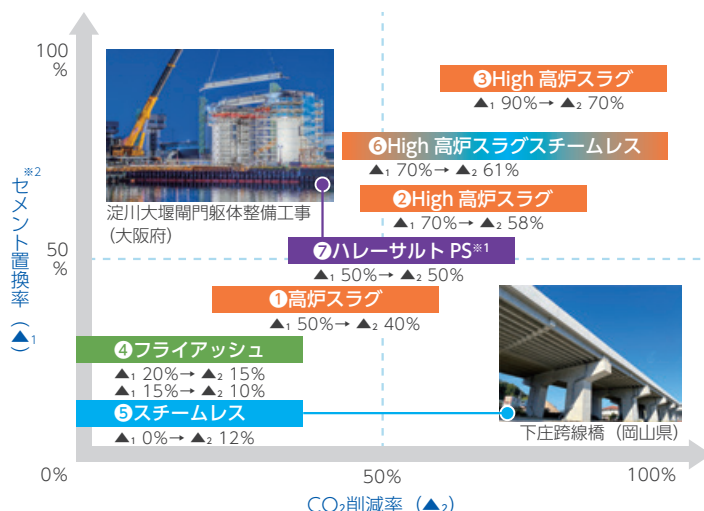
ー環境負荷低減型コンクリートー

近年、カーボンニュートラルの実現に向けて建設業界でもさまざまなCO₂排出量削減技術が開発されており、当社においてもCO₂排出量削減効果がある各種の『環境負荷低減型コンクリート』の開発を進めてきました。

製造時に多くのCO₂を排出するセメントを、産業副産物である高炉スラグ微粉末やフライアッシュに置き換えて使用することで、コンクリート材料由来のCO₂を削減するもの（右図①～④）や、速硬コンクリートを用いることで部材製造時の蒸気養生を省略可能とし、重油燃焼によるCO₂排出を削減可能なスチームレスプレキャストコンクリート（右図⑤）、さらに、これらの技術を組み合わせたタイプのもの（右図⑥、⑦）など、さまざまな環境負荷低減型コンクリートを開発してきました。

当社では、これらの環境負荷低減型コンクリートの総称を「カーボレスコンクリート」と名付け、地球温暖化対策として環境負荷低減を積極的に提案していきます。

当社開発のカーボレスコンクリート分布図



※1 セメントの50%を高炉スラグ微粉末に、天然骨材の100%を高炉スラグ細骨材に置換し、蒸気養生を不要としたコンクリート

※2 セメントの一部を高炉スラグ微粉末やフライアッシュで置き換える割合

詳しい内容は
こちら→



DX推進

DX推進の取り組み

当社は、10年後のありたい姿を実現するために、建設プロセスのデジタル化と自動化、管理業務の最適化に取り組んでいます。

10年後のありたい姿

PC技術を中核とした高度な技術力により、地球にやさしく安全で快適な社会の実現に貢献する



土木ニュース

長期大型プロジェクト受注完了（受注総額213.1億円）

ー東名高速道路（特定更新等）沼津IC～富士IC間床版取替工事ー

当社は、2017年より進められている「沼津IC～富士IC間床版取替工事」において、川田建設(株)・駒井ハルテック(株)と共同企業体（JV）を構成し、全6件の工事を受注いたしました。本事業の受注総額はJVで532.8億円、当社持分は213.1億円となっております。

今後、高速道路の大規模更新事業を通じて、社会インフラの長寿命化および安全・安心な交通ネットワークの維持に貢献するとともに、地域社会の持続的な発展に寄与してまいります。

工事を振り返って・・・



遠藤之康所長

本工事は、開通から50年を経た東名高速道路の老朽化に対応するため、最新技術を用いて補修・補強を行う「高速道路リニューアルプロジェクト」として、東名で初めて実施されたものです。床版取替工事では、大規模な交通規制を伴うため、短期間での完了を目指し、近隣住民のご理解を得ながら昼夜間施工を実施し、上下線あわせて10橋梁の工事を無事完了しました。現在も後続工事を進めており、引き続き「安全」を最優先に取り組んでまいります。



完成工事のご紹介



北陸自動車道(特定更新等)加賀IC～片山津IC間床版取替工事(その1)
【石川県】



株式会社永谷園 フーズ高萩工場（設備・電気・生産設備別途）【茨城県】
（元請：日清エンジニアリング株式会社）



恩納BP6号橋上部工（下りP12～A2）工事【沖縄県】



アパホテル<水道橋駅前>【東京都】

受賞作品のご紹介

受賞作品のうち代表的な物件をご紹介します。



土木（海外）

ジャイン・コーカレー橋【ミャンマー連邦共和国】



- 田中賞＜（公社）土木学会＞
- PC工学会賞（施工技術賞）＜（公社）PC工学会＞
- OCAJIプロジェクト賞＜（一社）海外建設協会＞



建築

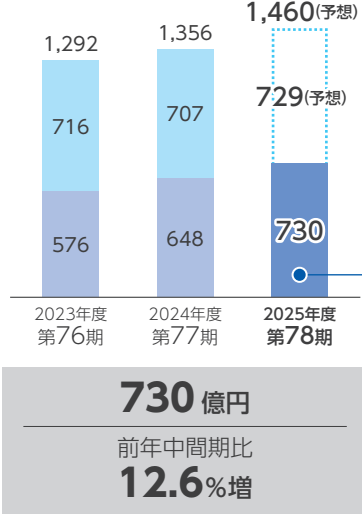
夕張市拠点複合施設りすた【北海道】



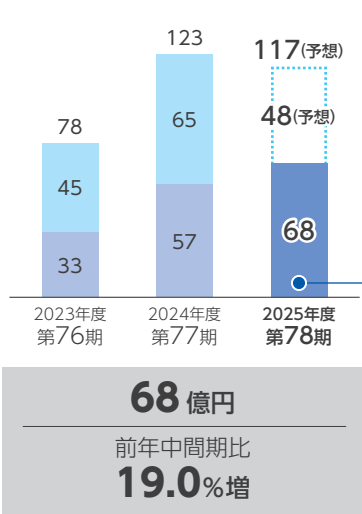
- 公共建築賞・優秀賞＜（一社）公共建築協会＞

業績ハイライト (単位: 億円)

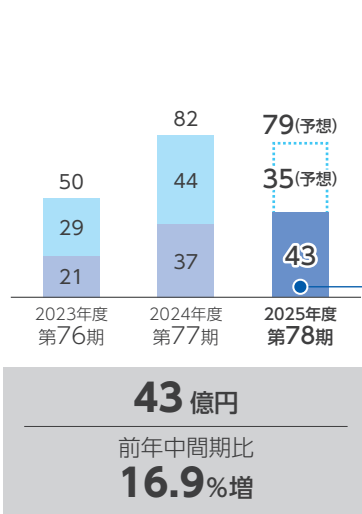
連結売上高



連結営業利益



連結当期純利益*

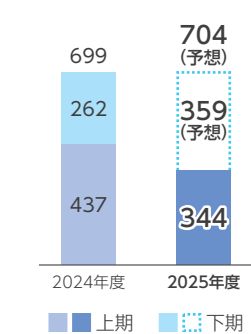


■ 上期 ■ 下期 *連結損益計算書上の「親会社株主に帰属する当期純利益」

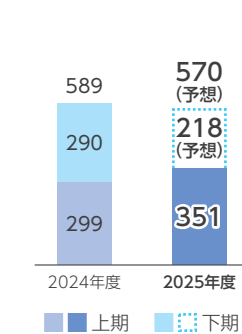
事業別の概況

	売上高		売上総利益	
	上期	通期見通し	上期	通期見通し
土木事業	365億円 前年同期比 12.2% ↑	710億円 前年同期比 3.5% ↑	71億円 前年同期比 20.1% ↑	137億円 前年同期比 4.4% ↑
建築事業	317億円 前年同期比 25.8% ↑	620億円 前年同期比 17.3% ↑	28億円 前年同期比 7.2% ↑	54億円 前年同期比 7.1% ↑
関係会社事業 + その他事業	47億円 前年同期比 32.8% ↓	130億円 前年同期比 8.3% ↓	22億円 前年同期比 18.0% ↑	41億円 前年同期比 12.2% ↓

土木事業受注高 (単位: 億円)

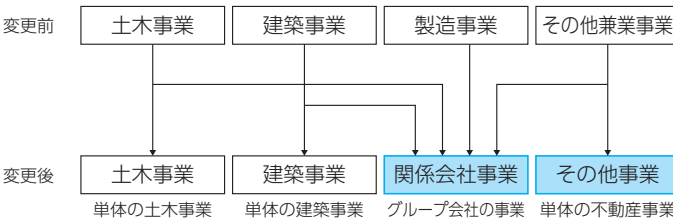


建築事業受注高 (単位: 億円)



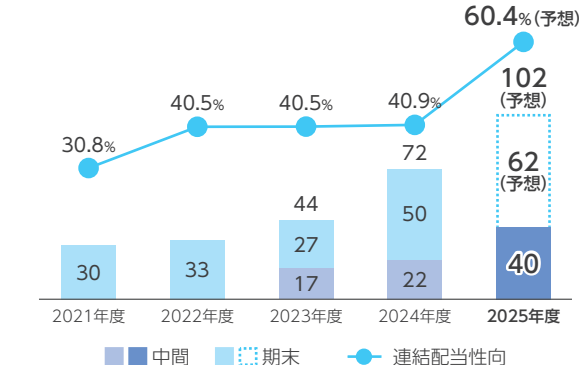
報告セグメントの変更について

当期から、従来、各セグメントに含めていた関係会社事業が独立したセグメントとなり、製造事業は関係会社事業に含めて報告されます。



*前期の数値は、当期の報告セグメントの区分に基づき作成したものを表示しております。

1株当たり年間配当金の推移 (単位: 円)



主な受注工事

土木	東名高速道路 (特定更新等) 沼津IC~富士IC間橋梁補強工事 (2025年度)	検査路工14橋、桁端部保護4橋、縁端拡幅2橋、外ケーブル補強4橋
	令和7年度 一般県道松原芋島線川島大橋PC床版工事	工事延長358m、2径間連続鋼アーチ橋の架設工事におけるPC床版製作工他2,457t
	中央新幹線、加賀美高架橋	3径間連続PC箱桁ラーメン橋【張出架設】1連 (橋長199.8m:1連) 他
建築	豊前市立豊前中学校整備工事	教育施設、RC造、地上4階建、延床面積: 10,000㎡
	(仮称) 新宿区四谷一丁目計画	店舗、事務所 S造、地上10階建、延床面積: 2,200㎡
	NHジャパンフード 川崎営業部増改築工事	食品倉庫 S造、地上2階建、延床面積: 2,500㎡

※本誌に記載されている業績予想は、作成時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。
※億円未満切捨てで表示しています。このため、合計と内訳の計は必ずしも一致しません。

財務情報の詳細データは
右記を読み込みの上、
ご参照ください



会社情報 (2025年9月30日現在)

商 号 ピーエス・コンストラクション株式会社
PS Construction Co., Ltd.
本社所在地 東京都港区東新橋一丁目9番1号
設 立 1952年3月1日
資 本 金 4,218,500,000円
代 表 者 代表取締役 森 拓也
従 業 員 数 単体：1,304名
連結：1,785名



ホームページのご案内

財務・業績情報、IR資料、プレスリリース等、IRに関する情報をタイムリーに掲載しています。
ぜひご活用ください。

<https://www.psc.co.jp/about/ir/>

ピーエスコンストラクションIR

検索



表紙の説明



本建物は、青森県三沢市の航空自衛隊三沢基地関係工事や青森県上北郡六ヶ所村の原子力発電所関係工事を行っている作業員や職員の宿舎が不足していることから計画されたホテルです。

RC造10階建て客室259室でルートインとしても東北最大級の建物です。

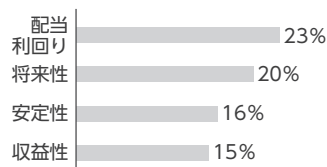
株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
単元株式数 100株
公告の方法 電子公告により、当社ウェブサイトに掲載いたします。ただし、事故、その他のやむを得ない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座管理機関
事務取扱場所 東京都府中市日鋼町1-1
電話0120-232-711 (通話料無料)
(郵送物送付先) 〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所 東京証券取引所

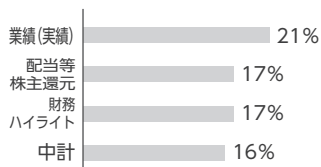
株主様アンケート結果のご報告

第77期期末株主通信において実施させていただきましたアンケートでは、大変多くの株主様にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。この貴重なご意見・ご要望を真摯に受け止め、今後の株主通信の発行およびIR活動に活かし、取り組んでまいります。(回答者数：907名)

当社の株式を購入された理由 (複数回答)



中心にご覧いただいた内容 (複数回答)



ご意見・ご要望 (要旨抜粋)

- 安定配当・株主還元の充実を願う
- インフラの再構築、貴社のビジネスチャンスと捉え、期待している
- 親会社とのシナジーを大いに発揮してほしい
- 優秀な人材確保のためにも知名度を上げる努力が必要

株式に関する手続きについて

1. 住所変更、単元未満株式の買取請求等のお申し出先について
口座を開設されている口座機関（証券会社等）にお申し出ください。
2. 特別口座の株主様
特別口座で管理されている株式に関する手続きについては、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。
3. 未払配当金のお支払いについて
株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

株主の皆さまの
声をお聞かせください

コエキク

<https://koekiku.jp>

アクセスキー

株主アンケートにご回答いただいた方の中から
抽選で **500円** 分のギフト券を
プレゼント!

本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。
アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」 koekiku@pronexus.co.jp



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



この印刷物は、有機溶剤等を使用しない環境にやさしい「水なし印刷」で印刷し、「ベジタブルインキ」を使用しております。また、針金を使わずに製本しております。